

平成 28 年 9 月 7 日  
 総 務 省  
 全国過疎地域自立促進連盟

## 平成 28 年度過疎地域自立活性化優良事例表彰における 優良事例の決定

総務省及び全国過疎地域自立促進連盟は、平成 28 年度の過疎地域自立活性化優良事例を、以下のとおり決定しました。

なお、表彰式については、来る 10 月 13 日（木）奈良県橿原市で行われる「全国過疎問題シンポジウム 2016 in なら（全体会）」において執り行います。

### 1 過疎地域自立活性化優良事例表彰について

本表彰は、地域の自立と風格の醸成を目指した過疎地域の取組を奨励するため、創意工夫をもって過疎地域の活性化に取り組み、優れた成果を上げ、過疎対策の先進的、モデル的事例としてふさわしいこと等を審査の基準として、過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会（委員長 宮口 侗迪（みやぐち としみち）早稲田大学教育・総合科学学術院教授）において選定の上、表彰するものです。

### 2 受賞事例

#### ◎総務大臣賞（5 事例）

| 団体名  | キャッチフレーズ   |
|--|--|
| はちのへし<br><b>八戸市</b><br>（青森県 <small>はちのへし</small> 八戸市）  | 南郷アートプロジェクト南郷 <small>り これくしょん</small> Re-collection: 見つけにいこう、まだ知らない南郷を |
| 公益社団法人<br><small>ちゅうえつぼうさいあんぜんすいしんきこう</small><br><b>中越 防災 安全 推進 機構</b><br><b>ムラビト・デザインセンター</b><br>（新潟県 <small>ながおかし</small> 長岡市） | 多様な人材による中越の新しい地域づくり 「にいがたイナカレッジ」                                       |
| 公益財団法人<br><small>よしのがわき かわけんりゅうものがたり</small><br><b>吉野川紀の川源流 物語</b><br>（奈良県 <small>かわかみむら</small> 川上村）                            | 「水源地の村」発！ つなぐ、つたえる、つづける<br>森から海へ、奈良・和歌山の県境を越えた流域連携のしくみ                 |

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| うじちいき<br>宇治 地域 まちづくり推進委員会<br>(岡山県 高梁市)        | 住民総働のまちづくり ～宇治町を次世代につなぐために～ |
| 特定非営利活動法人<br>らぼかもうごう<br>Lab 蒲生郷<br>(鹿児島県 始良市) | 小さく光るまちみがき                  |

◎全国過疎地域自立促進連盟会長賞（4事例）

| 団体名                                   | キャッチフレーズ                         |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 特定非営利活動法人<br>ふるさと<br>(長野県 長野市)        | ふるさとの冠婚葬祭をわが手でプロデュース             |
| 特定非営利活動法人<br>がんばらまいか 佐久間<br>(静岡県 浜松市) | みんなで汗かき がんばらまいか                  |
| 特定非営利活動法人<br>うちの館<br>(奈良県 五條市)        | 古代からの贈り物「宇智の大野」を未来へ              |
| きなだ<br>真田 いこい 茶屋<br>(和歌山県 九度山町)       | “元気な笑顔でおもてなし” おばちゃん達による地域活性化への挑戦 |

※全国過疎地域自立促進連盟は、過疎関係都道府県及び過疎地域市町村等を会員とする団体で、会員相互の緊密な連絡提携により、過疎対策事業の充実強化を図り、過疎地域の自立を促進し、過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化向上を図ることを目的とする団体です。

**連絡先**

総務省自治行政局過疎対策室

担 当：佐藤、馬場

代 表 電 話：03-5253-5111

内 線：23136

直 通 電 話：03-5253-5536

F A X：03-5253-5537

全国過疎地域自立促進連盟

担 当：川名、萩原

直 通 電 話：03-3580-3070

F A X：03-3580-3602

## 平成28年度 過疎地域自立活性化優良事例表彰 受賞事例の概要一覧

## ■総務大臣賞 5事例

| 都道府県名 | 市町村名          | 団体名   | キャッチフレーズ   | 事例の概要   |
|-------|---------------|---|--|---|
| 青森県   | はちのへし<br>八戸市  | はちのへし<br>八戸市                                  | 南郷アートプロジェクト<br>南郷Re-collection: 見つけに<br>いこう、まだ知らない南郷を          | 南郷アートプロジェクトでは、民俗芸能や自然など豊富な地域資源に恵まれた南郷地区を舞台に、地域主体で実施してきたジャズフェスティバルにちなんだ公演をはじめ、閉校する小学校における映画制作やダンス公演など、地域住民の参画を得ながら、地域資源を題材に様々な事業を実施している。<br>これらの事業の中で、地域住民が市外から招聘したアーティストと交流を図りながら作品を制作することにより、世代間交流の促進、文化芸術の振興・継承、地域に対する誇りやアイデンティティの醸成を図っている。                 |
| 新潟県   | ながおかし<br>長岡市  | 公益社団法人<br>中越防災安全<br>推進機構<br>ムラビト・デザイン<br>センター | 多様な人材による中越の新しい地<br>域づくり 「にいがたイナカレ<br>ッジ」                       | 新潟県中越地震を契機に、同県中越地域の中山間地域における集落の存続・活性化に向けた取組みが進む中、将来の地域の担い手づくり及び地域活動を活性化させるため、都市部の若者が1年間集落に滞在しながら、暮らしを学ぶ「にいがたイナカレッジ」長期インターンシップ事業を実施するほか、首都圏での交流イベントやツアー、短期滞在型のプログラム等の段階的なプログラムを実施している。<br>このような地域内外の人材と復興支援員等の人材との連携を図りながら、震災復興を超えた活気ある「新しい中越の日常」を目指している。      |
| 奈良県   | かわかみむら<br>川上村 | 公益財団法人<br>吉野川紀の川<br>源流物語                      | 「水源地の村」発！ つなぐ、つ<br>たえる、つづける<br>森から海へ、奈良・和歌山の県境<br>を越えた流域連携のしくみ | 川上村が「水源地の村づくり」を実行・推進するために設立され、広域的な視点で源流域の課題解決や流域全体の水環境保全に取り組んでおり、専門性を持った人事異動に影響されない持続した活動を確保している。<br>村民参加の「流域学習会」等を実施することで、水源地の役割を再認識し、環境意識の向上と源流に住む誇りの醸成を図るとともに、水源地の森ツアーや参加体験型の調査研究により、流域・都市部の人々との環境保全の価値共有、理解者・行動者の増加につなげている。                               |
| 岡山県   | たかはし<br>高梁市   | 宇治地域<br>まちづくり<br>推進委員会                        | 住民総働のまちづくり ~宇治町<br>を次世代につなぐために~                                | 宇治町を次世代につなぐため、住民意識の把握や共有を行いつつ、地域課題に対応した住民総働のまちづくりを目指し、取組を進めている。<br>今後のまちづくりの方向性を共有するための冊子や、災害時の連絡網となる全世帯が掲載された電話帳を全戸へ配布したほか、高齢者等の居場所づくりのための「宇治カフェ」の開催、農村型リゾート施設の運営、農業・農村体験事業などを通じた都市との交流活動等に積極的・継続的に取り組んでいる。また、移住者受入サポート体制を整備し、農業研修生等の移住者への支援を地域ぐるみで行っている。    |
| 鹿児島県  | あいらし<br>始良市   | 特定非営利<br>活動法人<br>L a b 蒲生郷                    | 小さく光るまちみがき   | 様々な団体や個人、さらには移住者等の協働により、地域課題の解決を図るとともに地域活性化のための人材育成を図っている。<br>日本一の巨樹「蒲生の大楠」を様々な体験プログラムと組み合わせ、着地型観光を企画するほか、移住者等による「地域の学校」の開設、こどもたちを中心に民話を絵本化する事業などを実施している。<br>こうした取組を通じ、蒲生地域に存在する自然・歴史・文化・食などの地域資源を見つめ直しながら、地域内外の交流を図ることで、地域住民には自信と誇りを、旅行者等に共感、愛着、満足度をもたらしている。 |

■全国過疎地域自立促進連盟会長賞 4事例

| 都道府県名 | 市町村名             | 団体名                             | キャッチフレーズ                         | 事例の概要  |
|-------|------------------|---------------------------------|----------------------------------|--|
| 長野県   | ながのし<br>長野市      | 特定非営利<br>活動法人<br>ふるさと           | ふるさとの冠婚葬祭をわが手でプロデュース             | 長野県長野市信州新町では、高齢化の進行等に伴い、かつては地域内で行われていた葬儀を地域外の専門業者に委託せざるを得ない状況にあった。<br>こうした中、地元商店街の店主たちが団結し、「地域の事は地域が支える」を合言葉に、「NPO法人ふるさと」を立ち上げ、冠婚葬祭事業や高齢者への配食サービスなど、地域コミュニティの再生と商店街の復活に向けた様々な取組を開始した。<br>年間200件を超える冠婚葬祭事業では、提供する料理、引き物、生花などを地元商店から100%仕入れており、地域内の経済循環に大きく寄与している。 |
| 静岡県   | はままつし<br>浜松市     | 特定非営利<br>活動法人<br>がんばらまいか<br>佐久間 | みんなで汗かき がんばらまいか                  | 地域のことは地域で考えるという住民自治の精神の基、行政と民間の隙間となるサービスを提供するなど、活動する住民に対して生きがいの場を提供しながら、すべての地域住民が協働して、豊かで安心して暮らすことのできる新たなまちづくり活動に取り組んでいる。<br>県内登録第1号となる過疎地有償運送を開始したほか、耕作放棄地を活用したそばの里づくり、地域間交流拠点として女性会員が運営する飲食店「NPOのお店いどばた」、お試し住宅の運営等の移住者サポート、さらには地域雇用創出のため、「アワビの陸上養殖」等を行っている。    |
| 奈良県   | ごしょうし<br>五條市     | 特定非営利<br>活動法人<br>うちのの館          | 古代からの贈り物「宇智の大野」を未来へ              | 登録有形文化財である藤岡家住宅を拠点とし、住宅そのものを展示物としつつ、地元の自然・歴史・文化をテーマに様々なイベントを展開している。<br>イベントの実施に当たっては、地域住民をはじめ、市内外から『家守倶楽部（やもりくらぶ）』と称する登録ボランティア会員を募り、運営や資料の整理等、事業運営支援への自主的・積極的な参加を得ており、イベントへの参加のみならず、ボランティアとして事業運営そのものに参画する機会を設けることで、郷土への愛着心を育むとともに、地域づくりに取り組む人材育成を行っている。         |
| 和歌山県  | くどやま ちよう<br>九度山町 | さなだ<br>真田いこい茶屋                  | “元気な笑顔でおもてなし” おばちゃん達による地域活性化への挑戦 | 全スタッフが地域に住む女性であり、ボランティアで従事しており、観光客へのおもてなしをはじめ、買物弱者である高齢者のためのミニ商店としての役割を担うとともに、コミュニティの再生を図るための憩いの場を提供している。<br>これら「おもてなし事業」、「地域の生活支援事業」及び「地域貢献事業」を柱に、地域課題の解決に向けた事業を展開するほか、お弁当作りや地域資源（特産品富柿、弘法大師ゆかりの世界遺産、戦国武将真田幸村公など）を活用した新商品の開発を行っている。                             |